

第4回 蕨戸田衛生センター火災に関する調査検証・再発防止対策会議 議事要旨

開催日：令和7年11月25日（火）14：00～15：40

場所：蕨戸田衛生センター組合 2階 大会議室

出席者：

委員：（学識経験者）八鍬委員

（蕨市） 加藤委員

（戸田市） 細井委員

（蕨戸田衛生センター組合）根津委員、山本委員、甲斐委員、上嶋委員、

事務局：（蕨戸田衛生センター組合）菊池課長補佐、青木係長、岡崎主任技術主査

欠席者： なし

配布資料：

第3回会議における確認事項に係る資料

資料1：各種法令等との整合性

資料2：再発防止策等について

資料3：蕨戸田衛生センター火災に関する調査検証・再発防止対策会議報告書(案)

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議題

（1）第3回会議における確認事項についての報告

事務局より、第3回会議における確認事項(下記質問)についての説明。

- ・(第3回会議での質問)「参考資料・第一次火害調査結果資料(抜粋)」中の「燃焼物」は何を指すのか。

→調査業者からは、一般論として、燃えてしまったものであるため、「燃焼物」と表記しているという回答。上記資料中の表記についても、「燃焼物」から「燃焼物(コンベヤベルト含む)」と修正している。補足として、本火害調査は、火災によってどれくらいのダメージを受けたかを調査するものであり、何が燃えたか、その時コンベヤが作動していたか等、そのときの状況を調査するものではないということである。

（2）各種法令等との整合性の報告

事務局より、資料1「各種法令等との整合性」の説明。

検証事項(①～③)について、戸田市顧問弁護士に相談を行い、事務局の見解について、妥

当であり、問題ないことを確認した。(確認日：令和7年11月6日)

→了承。(委員一同)

(3) 再発防止策等についての報告

事務局より、資料2「再発防止策等について」の説明。

・P4 体制の強化とは、具体的に何を指すか。(委員)

→不適物の選別時間を増やすことを想定している。現状、不適物の選別時間は、5～10分であり、粗大等受託者との調整が必要な内容である。(事務局)

・最新の設備として、不適物を取除くことができる設備はあるか。(委員)

→最近だと、X線を用いたもの、強力な磁石を用いた除去設備などがある。また、手作業にはなるが、手選別コンベヤを導入しているところもある。(会長)

・P4 ごみの分別はもうやっていることではないか。継続する内容と新規に始める内容を区別して、書いた方がいいのではないか。

→内容を見直し、対応する。(事務局)

・すぐに対応するものと中長期的に対応するものは、どの程度の時間間隔で実現させるものとして区分しているのか。(委員)

→明確に、時間で区分していない。すぐに対応できるものは、工夫次第で対応可能なもので、中長期的に対応するものは、予算がかかるものとしてわけている。(事務局)

・今回の火災で燃えてしまった施設復旧の話と次期施設の建替えの話が混在している感じがする。その部分を整理する必要があると思う。(委員)

→内容を整理する。(事務局)

・今後の設備を考えたときに、コンベヤベルトの素材として、鋼板製ベルトがいいのか、難燃性ベルトがいいのかは一概に言えない。鋼板製ベルトは金属なので、ゴムより熱に強いが、使用上の制約がある。例えば、本体が重たくなり、コンベヤスピードが遅くなるため、その分処理量を稼ぐために、コンベヤの容積を多くとる必要がある。導入には、設備設計を十分に考えないといけない。(会長)

→内容を検討する。(事務局)

・資料2 P3 や資料3 P13 「適宜」と「随時」の使い分けはあるか。(委員)

→明確に使い分けていないため、見直す。(事務局)

- ・P3 「消火設備等の定期点検を委託契約の仕様に盛り込むことを検討する」とあるが、頻度としてはどの程度を想定するか。(委員)

→年1回程度と考える。(事務局)

(4) 蕨戸田衛生センター火災に関する調査検証・再発防止対策会議報告書(案)について

事務局より、資料3「蕨戸田衛生センター火災に関する調査検証・再発防止対策会議報告書(案)」の説明。

- ・図、写真が縮小されているため、その分文字が小さくなっているため、文字を見やすくしたほうがいい。(委員)

→見直す。(事務局)

- ・概要版は必須ではないが、作る予定はあるか。全体構成は、章立ても含め、できるだけ見やすい構成としたほうがいい。(委員)

→全体の分量が多くないため、概要版を作る予定はない。資料構成については、見直す。(事務局)

- ・報告書を出した後、再発防止策等の実施状況を公表していく必要はあるか。(委員)

→必須ではないと考える。但し、再発防止策等が、報告書の内容から大きく変更ある場合は、公表した方がいいと考える。節目で報告する形でいいかもしれない。(会長)

- ・今回の報告書は、議会で報告する。また、組合HPでも公開される。その後の経過についても同様の取扱いとすることで、公表できると考える。(委員)

- ・今回の会議の意見を反映させた資料を各委員に提示し、次回会議までに意見をいただくこととなった。

(5) その他

- ・第5回会議は12月12日を予定している。(事務局)

4. 閉会